

持続可能な資源管理に関する公開セミナー「持続可能な資源管理とアジア - UNEP 資源パネルの議論を中心に -」の概要

1. 目的 我が国が主導してきた3Rイニシアティブ（※1）の一環として、アジアを含む国際的な低炭素・循環型社会の構築や持続可能な資源管理に関して、持続可能な資源管理に関する国際的な科学的検討の場である UNEP「持続可能な資源管理に関する国際パネル」（※2）における議論の紹介・解説を通じて、持続可能な資源管理重要性と目指すべき方向について、関係者の理解を深めることを目的とする。

2. 主催者 日本国環境省、財団法人地球環境戦略研究機関（IGES）

3. 日時 2009年3月11日（水）13:30-15:45

4. 場所 JICA 地球ひろば（〒150-0012 東京都渋谷区広尾 4-2-24）

5. 内容（予定） UNEP「持続可能な資源管理に関する国際パネル」（以下、UNEP 資源パネル）において、平成21年10月に同パネル最初の研究報告書であるバイオ燃料に関する報告書が発表されたことを受け、優先テーマとして科学的知見のとりまとめが進められている UNEP 資源パネルの5つの対象分野等における研究の国際的議論の現状と、バイオ燃料に関する報告書において示されている内容とを紹介・解説し、資源の持続可能な管理の重要性と目指すべき方向について理解を深める。

6. 使用言語 日本語

7. プログラム（予定）

13:30

開会挨拶（環境省廃棄物・リサイクル対策部）

13:40-14:05

基調講演（国立環境研究所 循環型社会・廃棄物研究センター 森口祐一センター長、
UNEP 資源パネルメンバー）

14:05-14:30

「持続可能な資源管理に向けた国際的動向と日本政府の取組」
（発表予定者）

14 : 30 - 14 : 45

「UNEP 資源パネル：5つの対象分野とバイオ燃料レポート概要」

(発表予定者)

IGES 廃棄物・資源プロジェクト 研究員 粟生木千佳

14 : 45 - 15 : 10

「アジアにおけるバイオ燃料をめぐる政策課題」

(発表予定者)

IGES バイオ燃料プロジェクト コンサルタント 松本菜穂子

15 : 10 - 15 : 35

「資源生産性指標の政策応用に関する国際的動向およびアジアへの示唆」

(発表予定者)

IGES 廃棄物・資源プロジェクト サブマネジャー 堀田康彦

15 : 35 - 15 : 45

質疑応答

15 : 45

閉会挨拶、閉会

※講演・発表者等は都合により変更される可能性があります。

※1 「3Rイニシアティブ」

グローバルな観点から廃棄物の発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）を通じて循環型社会の構築を国際的に推進する G8 を中心とした取組。

2004 年米国シーアイランドで開催された G8 サミットにおいて、当時の小泉総理の提唱により首脳間で合意したものの。

※2 「国連環境計画（UNEP）持続可能な資源管理に関する国際パネル」

2007年にUNEPが世界の著名科学者等約20名をメンバーとして設立。地球規模での経済活動の拡大に伴い、国際社会の大きな課題となっている天然資源の持続可能な利用の確保に向けて、資源の利用による環境影響について独立した科学的知見を提供するとともに、環境影響を低減するための方策の理解を促進することを目指している。